



# 6月定例市議会 市長所信

6月議会が6月5日から23日までの19日間の日程で開催されました。開会日には、議案審議に先立ち、当面する市政の重要課題につきまして、市長より所信が表明されました。今議会で表明された主な内容につきましては、次のとおりです。

## 平成26年の台風11号および12号による豪雨災害に対する阿南市災害義援金

平成26年8月21日から行っていた義援金の受付を平成27年3月31日までを終了しました。

市内をはじめ、全国の皆さまから心温まる義援金や数々のお見舞いをいただきましたことに、深く感謝を申し上げます。

義援金の内訳は、被災世帯の支援として、個人から139件、企業・団体等から83件、合計1258万7090円、加茂谷中学校への支援として、個人から4件、企業・団体等から2件、合計232万円となっています。

本来でしたら、義援金をお寄せいただきました皆さま、お一人おひとりにお礼を申し上げるべきところですが、この場をお借りしまして厚くお礼を申し上げます。

この、災害からの復興を願う人々の思いが込められた義援金は、半壊世帯に11万円、床上浸水世帯に6万6千円を生活支援資金としてお渡しすること

## 地方創生の大きな柱となる移住・定住施策

移住に係る「ワンストップ窓口」として、定住促進課内に移住交流支援センターを設置しました。センター設置を契機に、国や県および他自治体の担当部局との連携を強化し、移住を希望される方に対して、住居や支援施策など積極的な情報提供を行っていきたくと考えています。

また、本年4月から総務省が地方移住に関する総合情報サイト「全国移住ナビ」の供用を開始したことに伴い、全国の自治体がインターネットを活用して移住者を呼び込むためのさまざまな情報を発信していく動きが広がっています。そうしたことから、本市におきましても特別地方交付税を活用し、現在、移住促進に特化したPR動画を制作しており、本年6月中には当サイト上で積極的に配信する予定です。

さらに、都市圏に住む外部の若い人材を活用し、新たな目線・視点から地域活動に貢献していただくことは、地域に活力を与える起爆剤となり、また、地域の魅力を発信することで移住・交流の促進にも大きな効果が得られます。そこで、本市でも、全国的に成果を上げております「地域おこし協力隊」の導入を予定しており、平成28年度中に隊員の受け入れができるよう、関係団体と協議しています。

今後におきましても、まち・ひと・

を阿南市災害対策本部において決定し、4月15日から28日の間に市職員が、手渡しにより半壊の2世帯と床上浸水の185世帯の被災者の方々にお届けさせていただきます。また、加茂谷中学校をご指定の義援金につきましては、加茂谷中学校の備品等の購入費に充てさせていただきます。

なお、配分の残金につきましては、阿南市社会福祉協議会の災害ボランティアの養成および活動のための資金に充てさせていただいたことを報告しますとともに、被災された皆さまが一日も早く、元の生活を取り戻されるようお祈りを申し上げます。

## 国直轄の河川事業の予算および進捗状況

本市にかかる本年度の河川事業予算としましては、加茂地区をはじめとする無堤地区の築堤事業費などに約8億円、長安口ダムの改造事業費に約38億円、また那賀川および桑野川河口部の地震津波対策事業費として70億円の総額約116億円で、昨年度より約41億

しごと、そして自然に恵まれた本市の魅力を最大限生かし、移住・交流、さらには定住へとつながっていくよう、地域住民の皆さまや関係機関と連携しながら取り組んでいきますので、ご支援いただきますようお願い申し上げます。

## 屋内多目的施設整備事業

総事業費約5億3千万円をかけまして、平成26年2月から徳島県南部健康運動公園内に建設を進めてまいりました屋内多目的施設整備工事が本年6月中に完成し、7月19日に落成式を執り行う運びとなりました。

この屋内多目的施設は県下最大規模を誇り、建築面積約2534平方メートルの中に、人工芝グラウンドを配し、ライト側約40メートル、レフト側約48メートルのエリア全面を使用しますと、野球のシートノックや連携プレイも可能であり、防球ネットでも仕切りますと6レーンの打撃練習が同時に行えます。さらに、フットサル競技では、公式コート1面または練習コート2面の使用が可能となります。

また、屋根は光を取り込むことができる膜で覆われており、外からの採光で明るさを確保しているほか、会議室ロッカールーム、4人が同時に打球できる打球練習場等を備える施設となっています。

今後、8月には大阪市立大学野球部

円の大幅な増額となっており、重点的な配分をしていただいたものと考えています。

特に、那賀川の無堤地区につきましては、昨年の台風11号により甚大な浸水被害が発生した加茂地区が全国の新規事業5カ所のうちのひとつとして、「床上浸水対策特別緊急事業」に採択され、今年度から5カ年を目標とする実施計画で事業化されています。

また、深瀬地区につきましては、中央橋との取り合い部を含めた残りの築堤および護岸工事を施工し、今年度中に完成する予定です。

さらには、河道内の樹木や堆積土砂等により流下断面が不足している楠根・吉井地区につきましても、順次、伐採、掘削等に着手していくこととなっております。

## 学力向上サテライト事業

昨年度、全国で実施されました「全国学力・学習状況調査」の結果が9月に公表されましたが、残念ながら徳島県内の児童・生徒の成績はあまり芳し

の合宿や東京六大学オールスターチームの練習、春には甲子園出場の北信越地域の高校野球チームなどの合宿をはじめ、フットサル競技の大会、各種イベントなどが天候に左右されることなく実施できることになり、さらなる野球のまちづくり事業とスポーツによる地域の活性化に大いに寄与するものと期待しています。

また、県南部健康運動公園は徳島県の広域防災施設の拠点に位置付けられていることから、このたびの屋内多目的施設は物資の保管や広域応援部隊の活動拠点として、地域住民をはじめ広く市民の皆さまに貢献する施設でもあります。

そこで、この施設が市民に親しまれ、気軽に健康づくりを進められる中心的施設となることを願い、現在、広報あなん6月号や市ホームページで市民の皆さまに愛称を募集しています。募集期間は6月1日から25日までとし、決定した愛称は7月の落成式で発表する予定です。

## 「阿南市輝く子どもの子育て」応援に係る日亜化学工業基金

昨年末に、日亜化学工業株式会社様から、働く女性の子育て支援等を目的とした、本市が設置する就学前教育・保育施設等の事業および運営の充実に必要な資金として、多額の寄附金をいただきましたが、この度、さらに放課

い結果を残すことができずしてしまいました。

児童・生徒の学力を向上させるためには、まず教員の指導力向上を図ること、そして家庭教育の充実が必要であることが、県の学力テスト調査検討委員会から報告されています。

この報告を受け、子どもたちの学力を向上させるための実効性のある具体的手立てとして、この度、阿南市教育委員会と徳島県教育委員会、鳴門教育大学が協力し、ICTを活用したサテライト研修室「つながりルーム」を開設しました。

この研修室の開設によって、テレビ会議システムを通じた鳴門教育大学との双方向の情報交換が可能になります。これまで距離的、時間的、また経済的な制約によって、鳴門教育大学での研修を受けることができなかった教職員が阿南の会場で研修を受けることができるようになり、大学の持つ知見や情報を得やすくなることで、教員の資質向上や学校の教育力向上につながっていくものと大いに期待をしています。

後児童クラブの事業および運営の充実を図っていただきたいとのことで、追加として多額のご寄附をいただきました。

現在、本市に開設されている放課後児童クラブは、公設民営が19クラブ、民設民営が1クラブで、約700人の児童が利用しており、児童福祉法の改正による対象児童の学年の引き上げや開所時間の延長により、今後、利用する児童はさらに増えてくるものと考えられます。

そうしたことから、「本市における地域の子育て支援の充実を」という貴重なご寄附の趣旨を十分踏まえ、本年4月からスタートしました新制度のもと、地域のニーズに合わせた放課後児童クラブの増設のほか、職員や施設・設備についても新たな基準を設けて質の向上を図っていくなど、諸事業に有効活用させていただきます。その達成状況や進捗、結果などを検証・分析し、より良い子育て施策の推進を図っていきたくと考えています。

紙面の都合上、抜粋して要旨部分のみ掲載しています。全文をご覧になりたい方は、市ホームページをご覧ください。

また、後日作成されます市議会会議録は市立図書館等で閲覧することができます。